

たかくらっ子だより

発行責任者 渡辺 博明 発行日：令和4年3月22日

学校教育目標：自ら未来を拓き、共によりよく生きる子どもを育てる



HPのQRコード

引き続き、命と心を守っていきます

16日（水）の夜中に起きた地震では、多くの方が不安を感じられたことと思います。保護者の皆様、地域の皆様のご無事を心から願っています。

地震直後、施設面の点検を行った結果、安全に関わる大きな損傷がなかったことから、通常通りの登校といたしました。マチコミメールですぐにお伝えすべきところでしたが、連絡が抜けてしまい申し訳ございませんでした。今後の改善点といたします。

17日（木）の朝、子ども達には、心を落ち着けて生活し、不安があればいつでも教えてほしいと伝えました。ご家庭でも、お子さんの心身の体調の変化等、気になることがあれば、いつでもご連絡ください。引き続き、子ども達の命と心を守るよう努めていきます。

明日は、高倉小学校第146回目の卒業式です。子ども達が、安心して学校生活を送り、晴れやかな気持ちで式に臨めるよう力を尽くしていきます。

「支え」に、心から感謝いたします

今年度、高倉小には、市から多くのサポートの先生がお越しいただきました。週に1日、月に1～2日のご勤務でしたが、その支えは大きなものでした。いつまでも、高倉小の子ども達にたくさんの方のサポートを求めています。今年度をもって離任することとなりました。子ども達の成長を支えていただいたことに改めて感謝すると共に、これからのご活躍を心より願います。

＜教科専門員 体育科スーパーティーチャー＞

令和2年度の10月から、毎週水曜日にご勤務いただきました。体育科の本質を押さえながらも「楽しい体育」で、いつも、子ども達がワクワクする授業を考えてくださいました。休み時間も子ども達と遊んでいただきました。外遊びをする子が増えたのも、先生のおかげです。ありがとうございました。



＜アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー（AET）＞

高倉小に通うこと16年間。長年にわたり、英語の指導をしてくださいました。学校中に響き渡る「いいねえ！」の声がトレードマーク。先生の気さくな人柄に、子ども達はいつもノリノリ。チャンダン先生のおかげで、たかくらっ子はみんな英語が大好きになりました。ありがとうございました。

＜スクールカウンセラー＞

平成31年4月より3年間、毎週月曜日に来校され、教育相談や授業参観などを通して、子ども達の「心の声」を聞き、感じてくださいました。人をありのままに受け止める先生の温かさに包まれて、子ども達は安心して自分の心を開き、気持ちを伝えることができました。ありがとうございました。



思いを届けて。ありがとう6年生 ～6年生を送る会～

3月9日(水)に「6年生を送る会」が行われました。

まずは、全校生で、6年生に関係するゲームやクイズで楽しみました。会の主役である6年生のことを考えて、内容をアレンジしているところにアイディアのすばらしさを感じました。続いて、縦割り班ごとに作成した「寄せ書き」を、感謝の気持ちを込めて、6年生に手渡しました。6年生は、ずっとその「寄せ書き」を見つめていました。最後に、6年生から1～5年生に、お礼の言葉と感謝の歌が贈られ、温かな雰囲気の中、会は幕を閉じました。



この会は、5年生が中心となって企画、運営しました。送る会が進むにつれ、いつの間にか、5年生の手からは、台本が手放されていました。「6年生の心に残る思い出をつくりたい。みんなと、大切な時間を過ごしたい」その「思い」が、上手に「読む」ことよりも、その状況にもっとも必要な言葉で「語る」ことを、無意識に選択させたのかもしれない。

今日この日まで、わずかな時間も惜しんで、会の準備を進めてきた5年生。途中、様々な苦労や不安、ときには失敗もつまずきもあったでしょう。でも、5年生は、あきらめずにやり遂げました。

「6年生のために。みんなのために」という「思い」をもって、5人で力を合わせ、5人でがんばりました。そして、先生方はその姿を信じ、任せました。信じてもらうことで、さらに期待に応えようとする5年生。下の学年も、5年生の姿に刺激を受けて心一つにして準備をがんばりました。

みんなで拓いたその道の「足跡」は、決して消えることはありません。高倉小の子ども達に「だれかのために」という思いが、とてつもない力を生み出すことを教えてもらいました。



思い出アルバム ～6年生を送る会 R4.3.9(水)～



ありがとう6年生、ありがとう1～5年生

